

高浜2号再稼働当面困難

関電 40年超安全対策完了せず

関西電力は30日、運転開始から40年を超える高浜原発2号機の安全対策工事が予定の4月中に終わらず、完了時期を「未定」に変更したと発表した。テロ対策施設の完成も設置期限の6月9日に間に合わないため、当面は再稼働できないことが確定的となった。

関電は30日、安全対策工事の使用前検査の変更申請を原子力規制委員会に提出した。昨年4月の前回申請では、今年5月に再稼働する工程を示していた。杉本達治知事は4月28日、高浜1号機と美浜原発3号機を含めた3基の再稼働に同意したが、高浜2号

機の早期再稼働は難しいとみられていた。工事の遅れについて、関電は「全国的な建設ラッシュや新型コロナウイルスの感染拡大で作業員の確保が難しいため」と理由を説明。火災対策工事が特に遅れており、難燃ケーブルへの取り換え作業は全長390m

のうち50mが未完という。高浜1号機と美浜3号機の安全対策工事は昨年9月に完了した。(野田勉)